

## JWA 防災セミナー開催のご案内

# 豪雨情報活用術

～ どう読み、どう使い、どう伝える ～

一般財団法人 日本気象協会

拝啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平成 21 年は中国・九州北部豪雨や台風 9 号などの豪雨災害が発生し、豪雨への対策に社会的関心が集まる中で、日々の防災業務に携わられていることと存じます。

JWA 防災セミナーでは、豪雨時の防災業務における情報の「読み方、使い方、伝え方」という視点から当協会の最新の豪雨情報、活用事例、伝達手段を紹介いたします。また、京都大学堀智晴教授をお招きし、「豪雨情報の活用の課題」について御講演頂き、パネルディスカッションにおいては意見交換を行う予定です。

参加費は無料です。皆様の御参加を、心よりお待ちしております。



### 【特別講演者の御紹介】

堀 智晴 (Tomoharu Hori)  
京都大学防災研究所 附属水資源環境研究センター 教授

京都大学工学部卒業。07 年から現職。

洪水や渇水災害を防止・軽減するためのシステムに関する計画・設計・管理論や、人間の被害への対応行動、水循環と社会経済活動との相互作用分析モデルを研究。

【日時】2010 年 8 月 2 日(月) 14 時 00 分～16 時 30 分 (受付開始 13 時 30 分)

【対象】行政や企業の防災担当者、防災に関心がある方 先着 100 名程度

【会場】ハートンホテル南船場  
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 2-12-22  
<http://www.hearton.co.jp/minamisenba/>

【内容】豪雨情報活用術～ どう読み、どう使い、どう伝える ～

#### [講演]

- ・降雨の予測技術の現状 = 情報を読む =
- ・予測から態勢支援を目指す防災気象情報 = 情報を使う =
- ・Twitter による防災情報提供 ASP サービス = 情報を伝える =

一般財団法人 日本気象協会

#### [特別講演]

災害情報活用 2 つのフェーズ - 災害対策と住民避難 - (仮題)

京都大学防災研究所 附属水資源環境研究センター 堀 智晴 教授

#### [パネルディスカッション]

～ よりよい豪雨情報の利活用を目指して～

## JWA 防災セミナー

# 豪雨情報活用術

～ どう読み、どう使い、どう伝える～

# 参加申込書 (FAX)

8月2日(月) 14時00分～16時30分  
(受付開始 13時30分)

会場：ハートンホテル南船場  
2階 サイプレス

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 2-12-22  
TEL:06-6251-2111



(最寄駅：地下鉄御堂筋線 心齋橋駅徒歩約5分  
地下鉄堺筋線・長堀鶴見緑地線 長堀橋駅徒歩約5分)

問合せ先：小野<sup>おざさ</sup>，小笹

電話 06-6266-8421  
eigyou.kansai@jwa.or.jp

御記入の上、ファックスで送信ください(上記メールも可)

貴団体名	(お電話 )
参加者の お名前	(部署 )
	(部署 )
	(部署 )

お申し込みファックス番号 06-6266-8431

セミナー内容への御質問、御要望等ありましたら御記入下さい。